

トヨタ純正

ラゲージルームランプ

取付要領書

このたびは、トヨタ純正 ラゲージルームランプ をお買いあげいただきましてありがとうございます。

本書は、ラゲージルームランプ の取り付け要領について記載してあります。

取り付けの前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。

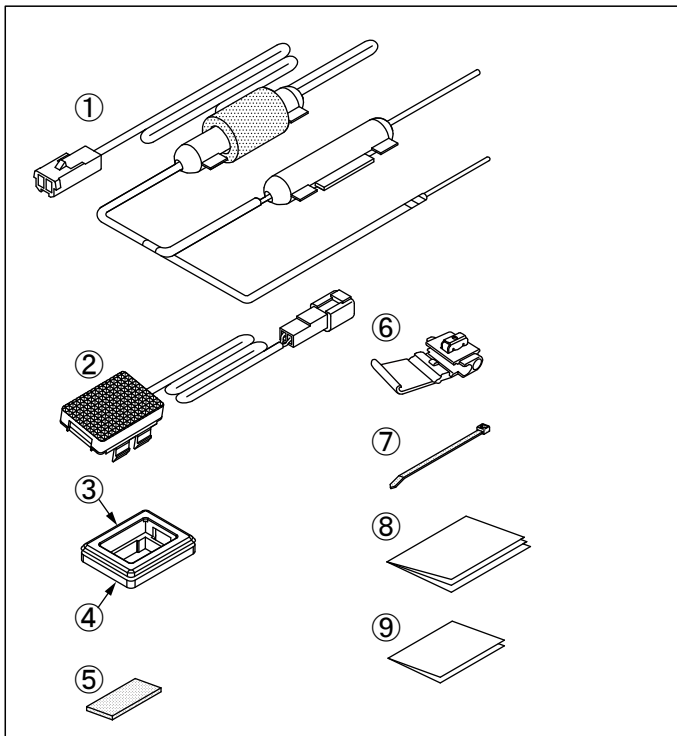
品 番

品 番

0852D-B2170

構成部品名

・取り付けの前に以下の表に従って部品がそろっているかご確認ください。



No.	品 名	個数
①	ユニットケースAssy	1
②	ランプAssy	1
③	アウターベゼル	1
④	インナースペーサー	1
⑤	ウレタンフォーム (60×35×5)	2
⑥	エレクトロタップ	2
⑦	クランプ	2 2
⑧	取付要領書 (web)	1
⑨	取扱書	1

本製品は車両年式によって一部異なる作業となります。

異なる作業は、【年式】を記載していますので、ご確認の上、ご対応する作業のみ行ってください。

トヨタ自動車株式会社

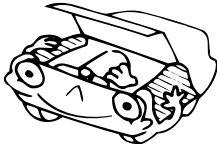
電装用品取り付け上の注意

このたびは、純正部品をお買上げいただき、ありがとうございます。

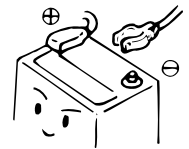
電装用品を正しく取り付けいただくために、この「電装用品取り付け上の注意」を必ずお読みください。誤って取り付けた場合、電装用品の機能を阻害するばかりでなく、車両機能を損ない、ひいては車両故障につながる恐れがあります。また、その際には保証の対象にはなりませんのでご注意ください。

取り付ける前に

- (1) 車両を汚したり、傷を付けないように作業部周辺にはカバーを付けてください。



- (2) ハーネスのショート事故防止のため、必ずバッテリーの(－)端子を外してください。



部品の取り付けは

- (1) 裏側のハーネスをかみ込んで、ボルト・ナットを締め付けないでください。



- (2) 取り付け穴をあける時は、必ず裏側になにも無いことを確認してください。

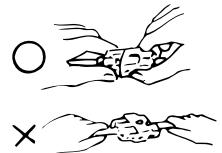


ハーネスの配線は

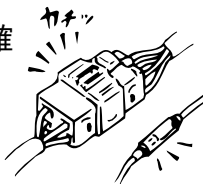
- (1) 車両ハーネスは、強く引っ張らないでください。コネクタ外れやハーネス損傷の原因になります。



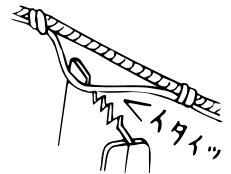
- (2) コネクタは、リード線を引っ張らず、コネクタ本体を持って外してください。



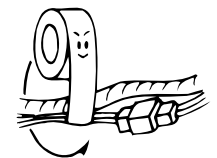
- (3) コネクタやターミナルは確実に接続してください。



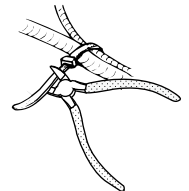
- (4) ハーネスが、車両内側のエッジや高熱部分・可動部分に接触していないか確認してください。



- (5) ハーネスやリード線は、ブラブラしないように車両ハーネス等にまとめ、テーピングで固定してください。

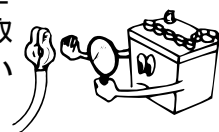


- (6) バンドクランプを使用した箇所は、必ずバンドクランプ先端の余り部を切断してください。



取り付けが終わったら

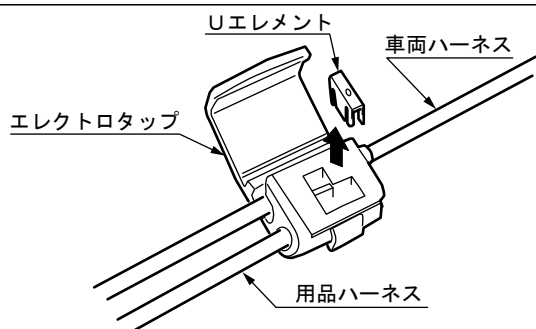
- (1) バッテリーの(－)端子を接続する前に、いま一度取り付けや配線に誤りがないか確認してください。



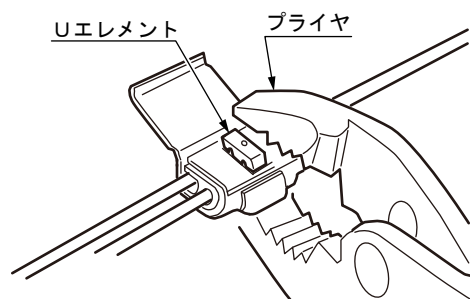
- (2) キットの作動確認を行うと同時に、車両のランプ・ホーン・ワイパー等の装置が正常に作動するか確認してください。



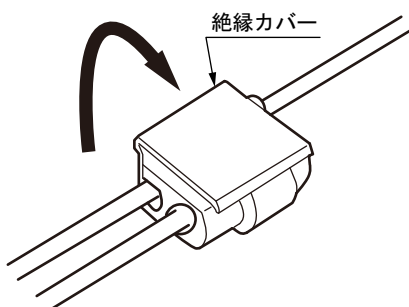
エレクトロタップ(分岐コネクタ)の接続要領



- A. Uエレメントを取り外します。
本書指示の車両ハーネスをコネクタの側面から挿入します。
用品ハーネスは横の差し込み孔からストッパーの位置まで十分深く挿入します。



- B. プライヤでUエレメントを完全に押し込みます。
※プライヤは歯と歯の間をあけて使用してください。



- C. フック付き絶縁カバーを倒してロックします。

△ ご注意

プライヤを用いて接続する場合、Uエレメントを左右均等の力で押し込み、コネクタ本体の面とUエレメントの面が同一となるまで完全に押し込んで下さい。圧接後、Uエレメントがななめの状態になっていないか、完全に押し込まれているかなどの確認をして下さい。
Uエレメントを押し込み後、テスターにて導通チェックを行ってください。

取り付け上の注意事項

本書では安全な作業をしていただくため、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています。

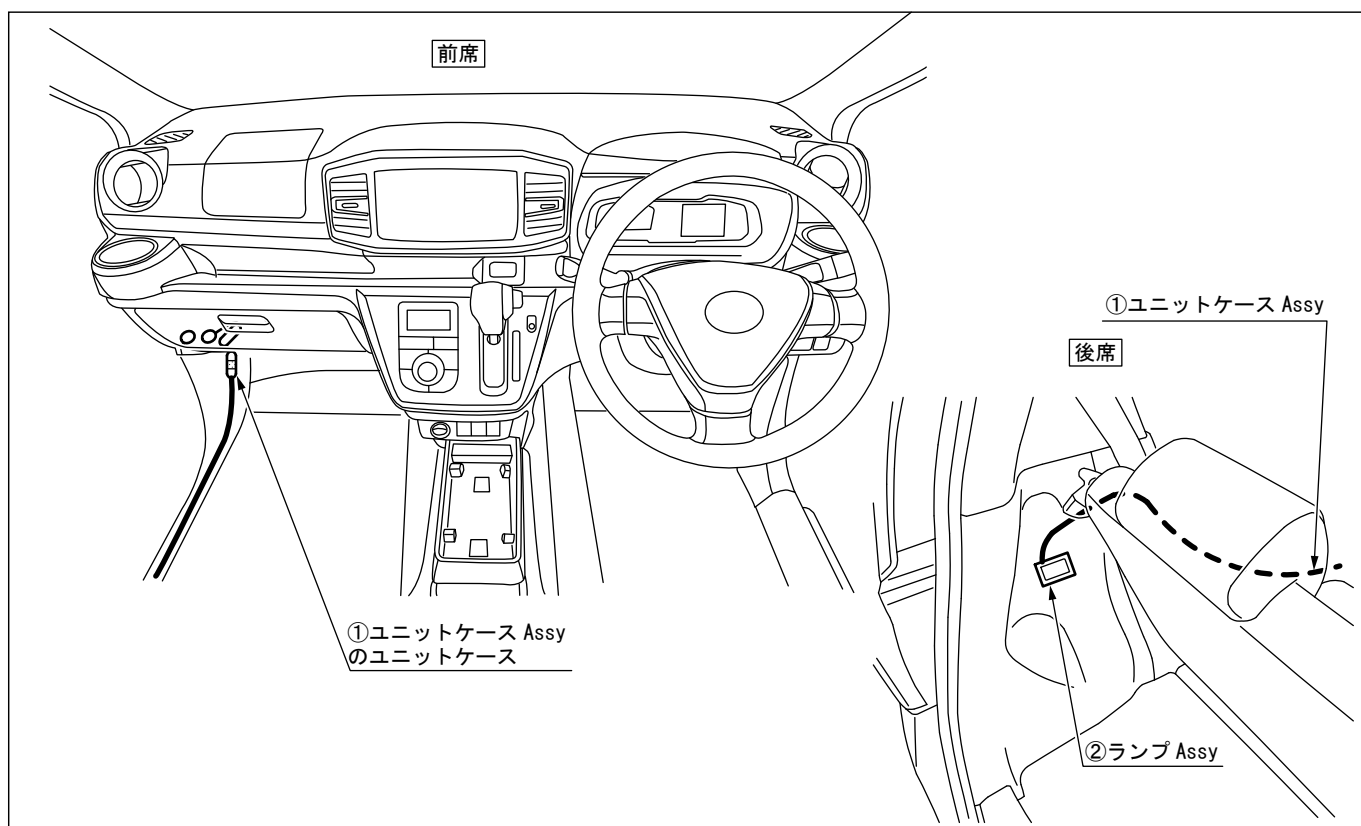
△ ご注意	注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷するなどの恐れがあることを記載しています。
👉 アドバイス	スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

1. 取り付ける前にパーキングブレーキが掛かっていることを必ず確認してください。
2. 取り付ける前にボディ保護のカバーを付けてください。
3. 車両部品の取り外しに際して、タッピングスクリュやボルト、ナット類の紛失や混乱がないように部品ごとに整理して、復元する際に間違えないよう配慮してください。また、傷を付けたりしないように取り扱いに注意して作業を行ってください。
4. 本書で指示した以外の車両部品を取り外さないでください。
5. 貼り付け部位に油脂分や汚れが付いていますと、脱落、剥がれの原因になりますので、脱脂剤等を使用し、十分に脱脂してください。
6. 脱脂剤等を使用する場合は、火気に充分注意して作業してください。

△ ご注意

ワイヤーハーネスは車両板金エッジ、可動部、樹脂バリに干渉しないように配線し、確実に固定してください。

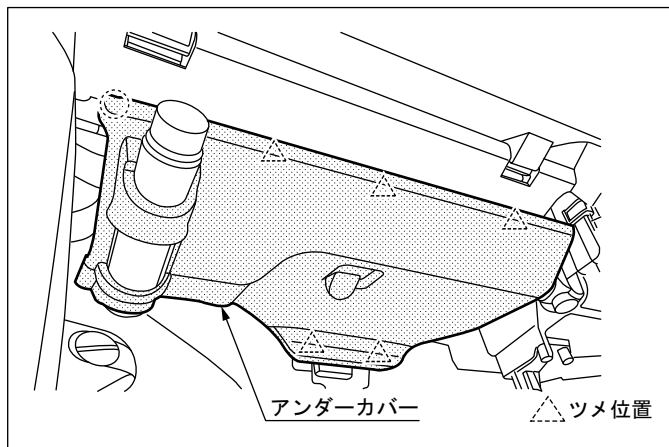
取り付け概要



取り付けに必要な工具等

④ドライバー、クリップリムーバー、メジャー、テスター、ビニールテープ、保護テープ、プライヤ、スパナ (10)、ニッパー、脱脂剤、ウエス、超音波カッター、ケブラ手袋

取り付け要領



〔車両部品の取り外し〕

1. 下記部品を取り外します。

⚠ ご注意

取り外した部品は再使用しますので、傷を付けたり紛失しないように保管してください。

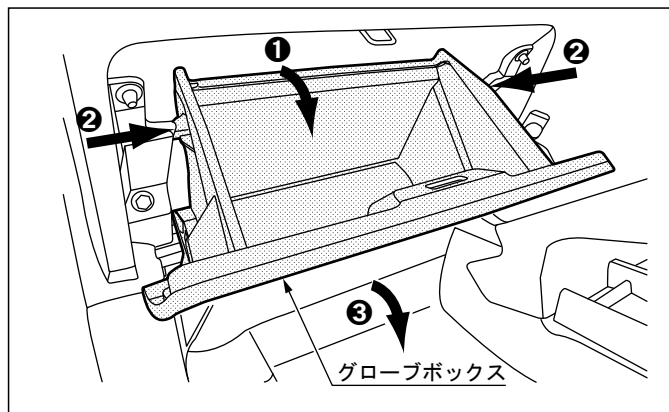
(1) アンダーカバー

ツメ 5ヶ所の嵌合及び○部の引っ掛けを外し、アンダーカバーを取り外します。

(△ ツメ : 5ヶ所)

⚠ ご注意

○部の引っ掛けは変形しやすいので注意して作業を行ってください。



(2) グローブボックス

① グローブボックスを開きます。

② グローブボックスの側面を内側へ押し、中央にたわませてストッパを外します。

③ グローブボックスを下に開き、ヒンジ部分を外し、グローブボックスを外します。

(3) フロントスカッププレート (LH)

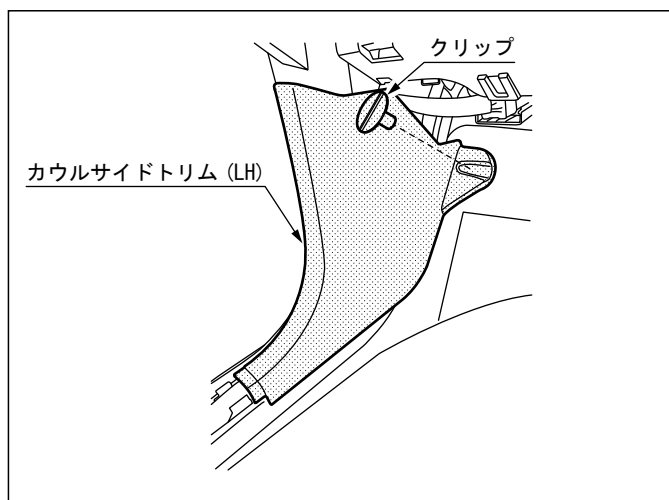
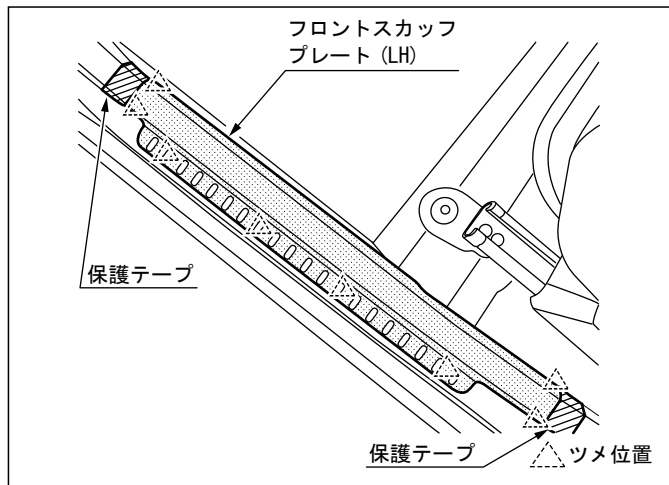
傷付き防止のため、左図指示部に保護テープを貼り、フロントスカッププレート (LH) を取り外します。

(△ ツメ : 8ヶ所)

⚠ ご注意

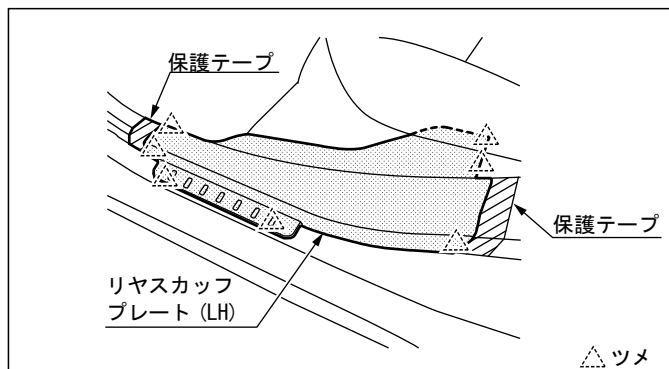
フロントスカッププレート (LH) を復元する際、

①ユニットケース Assy のハーネスを噛み込まないように注意してください。



(4) カウルサイドトリム (LH)

(クリップ : 1個)

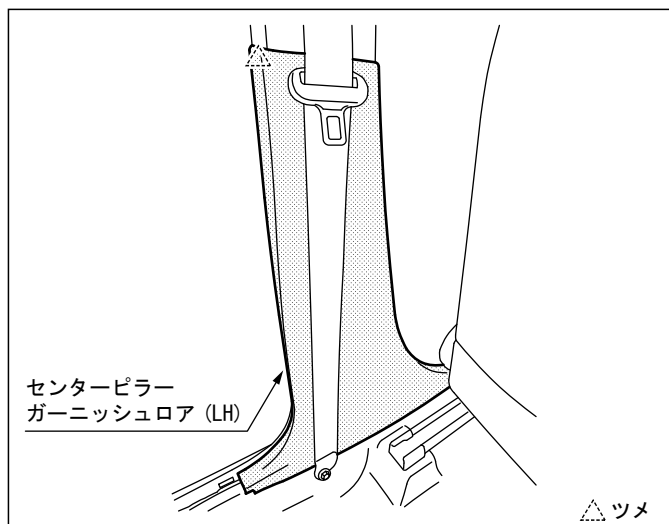


(5) リヤスカッププレート (LH)

傷付き防止のため、左図指示部に保護テープを貼り、リヤスカッププレート (LH) を取り外します。
(△ ツメ：7ヶ所)

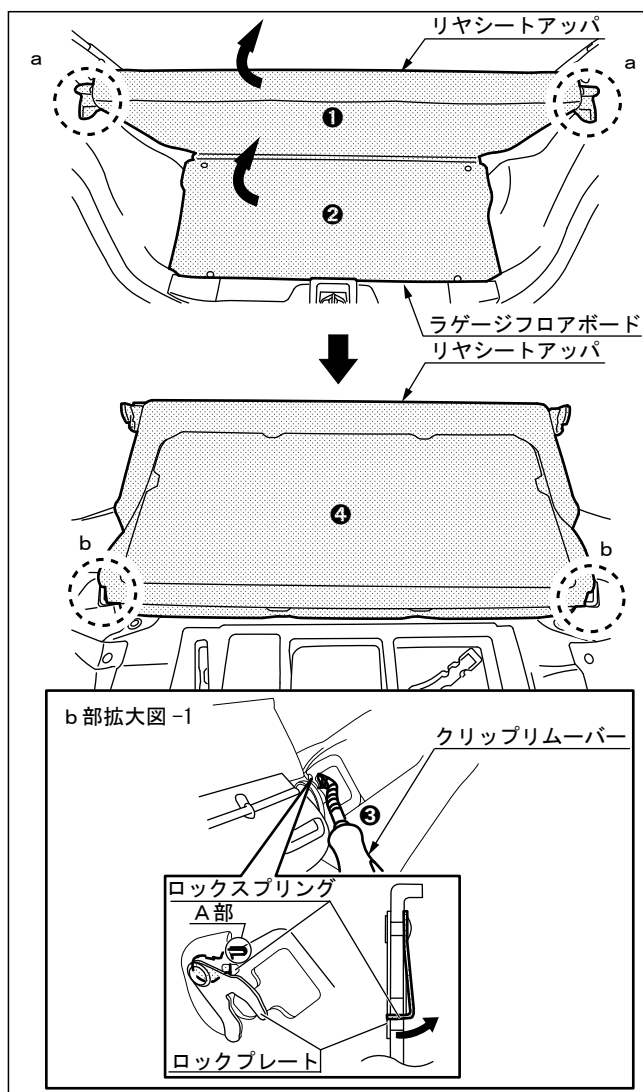
△ ご注意

リヤスカッププレート (LH) を復元する際、①ユニットケース Assy のハーネスを噛み込まないように注意してください。



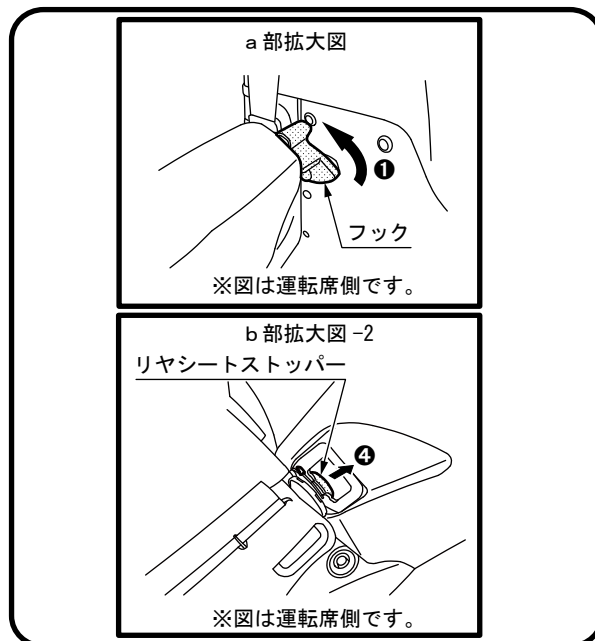
(6) センターピラーガーニッシュロア (LH)

(△ ツメ：1ヶ所)



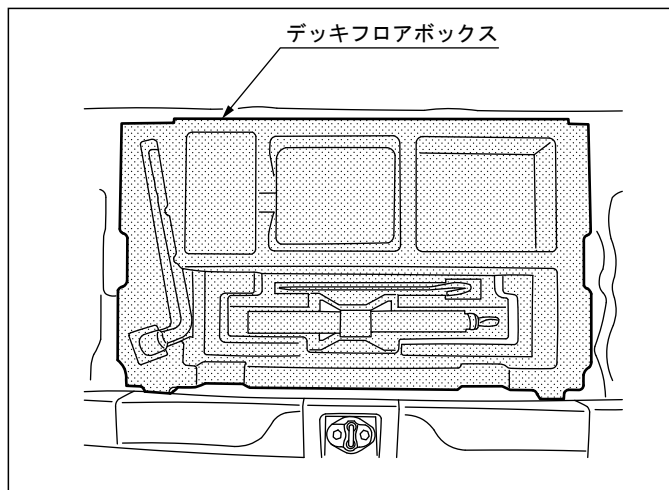
(7) リヤシートアッパ

- ①左図フックの嵌合を外し、リヤシートを倒します。
- ②ラゲージフロアボードをめくります。
- ③保護テープを巻いたクリップリムーバーを挿し込み、ロックスプリングのA部を → 方向へ押し、ロックプレートが可動する状態にします。
- ④③の状態ではリヤシートストッパーを外し、リヤシートアッパを取り外します。



△ ご注意

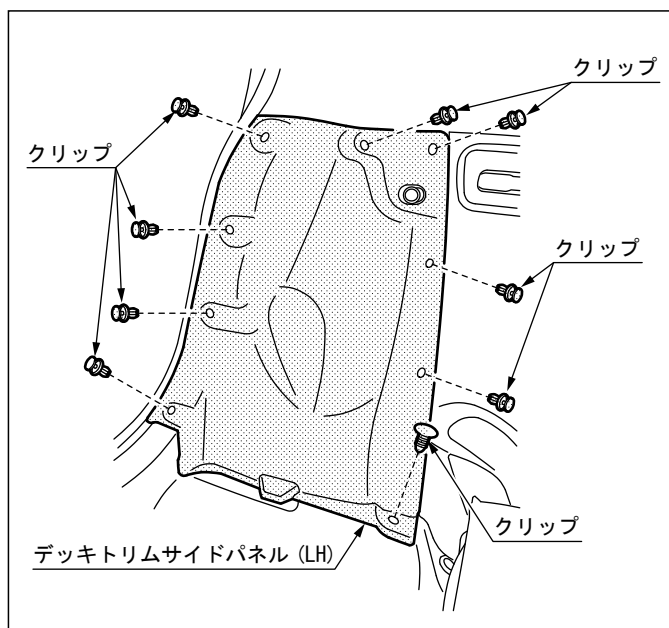
ロックスプリングを強く押し過ぎると、塑性変形して正しくロックしなくなる場合があります。



(8) デッキフロアボックス

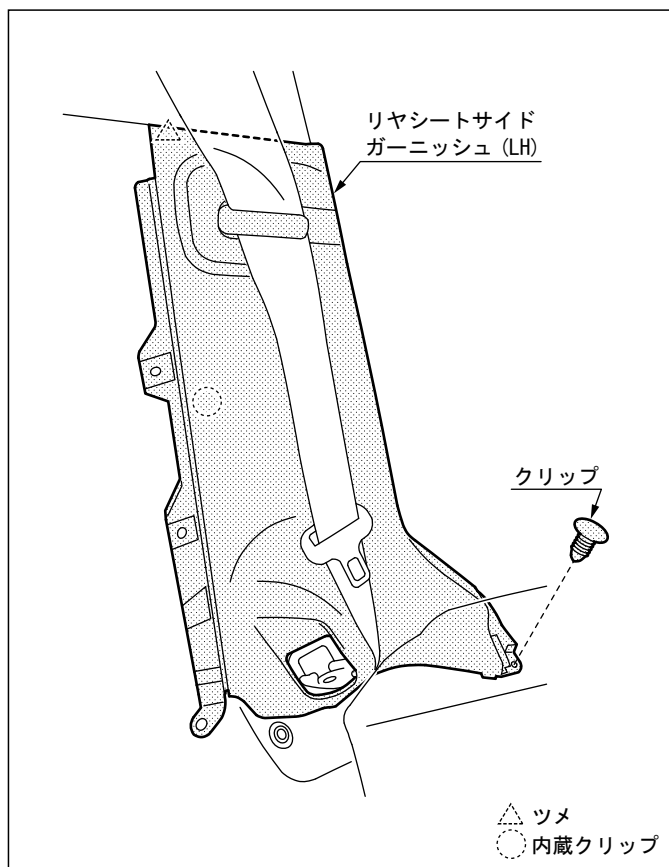
△ ご注意

スペアタイヤ付車の場合は、スペアタイヤを取り外してください。



(9) デッキトリムサイドパネル (LH)

(クリップ：9個)

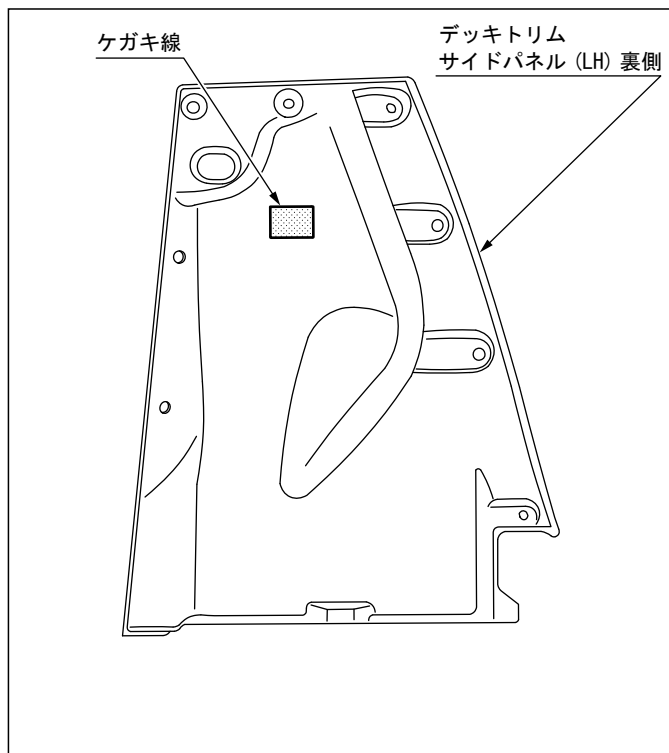


(10) リヤシートサイドガーニッシュ (LH)

(△ ツメ：1ヶ所)

(○ 内蔵クリップ：1個)

(クリップ：1個)



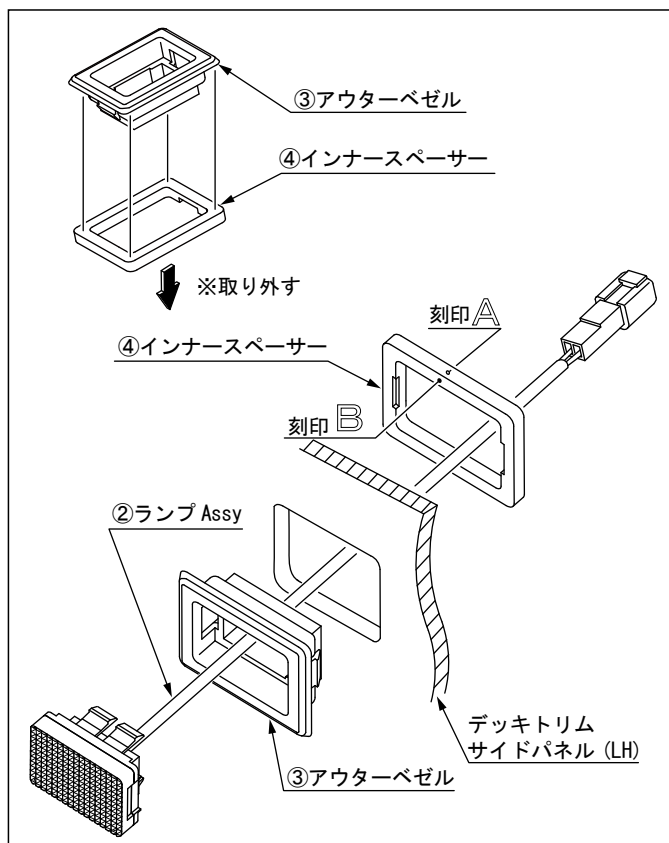
〔ランプ取り付け〕

1. 車両部品の加工

- (1) デッキトリムサイドパネル (LH) 裏側に設定されているケガキ線を確認します。
- (2) デッキトリムサイドパネル (LH) をケガキ線に沿って超音波カッターで切り抜きます。

⚠ ご注意

1. デッキトリムサイドパネル (LH) を切り抜く際、ケブラ手袋を着用し、作業してください。
2. デッキトリムサイドパネル (LH) を切り抜く際、切り過ぎないように注意して作業してください。

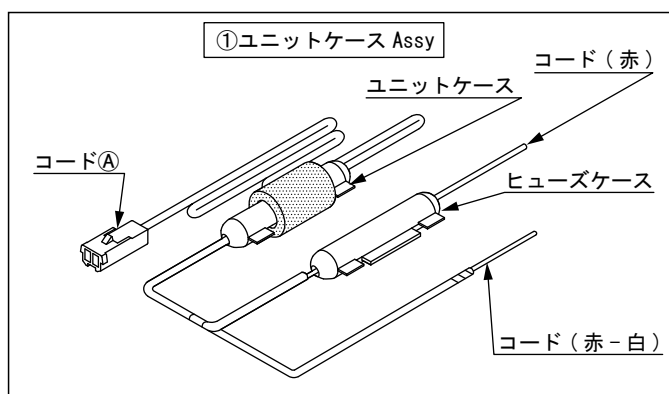
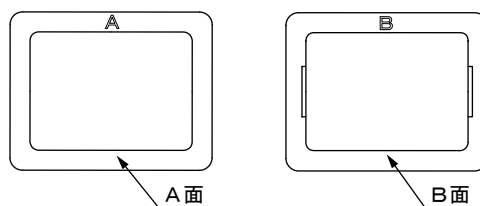


2. ②ランプ Assy の取り付け

- (1) ③アウターベゼルから④インナースペーサーを取り外します。
- (2) ③アウターベゼル表側から②ランプ Assy を通して組み付け、デッキトリムサイドパネル (LH) まで通します。
- (3) ④インナースペーサーのB面がデッキトリムサイドパネル (LH) 裏側と接触するように②ランプ Assy に通して③アウターベゼルと組み付け固定します。

👉 アドバイス

④インナースペーサーはA面とB面があります。刻印を確認し、必ずB面がデッキトリムサイドパネル (LH) 裏側と接触するように組み付けてください。



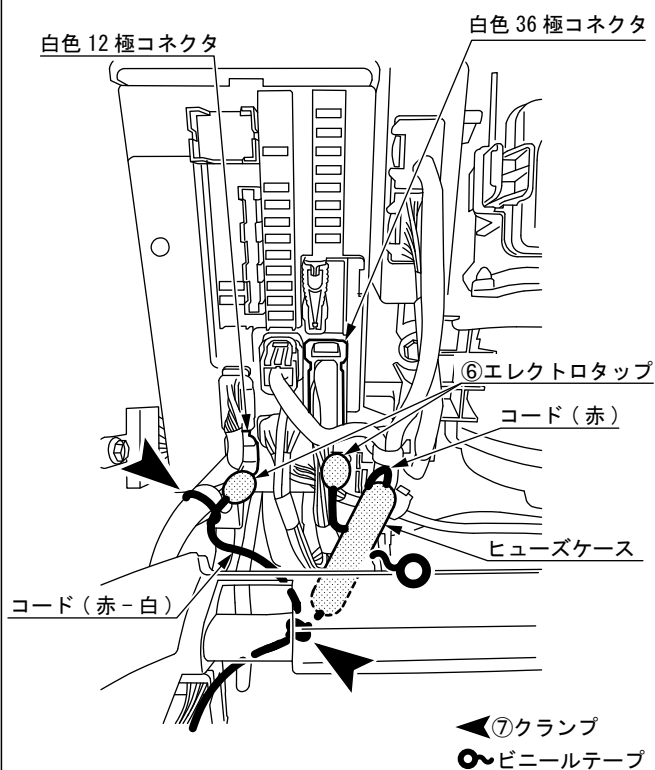
〔ユニットケース Assy の配線〕

⚠ ご注意

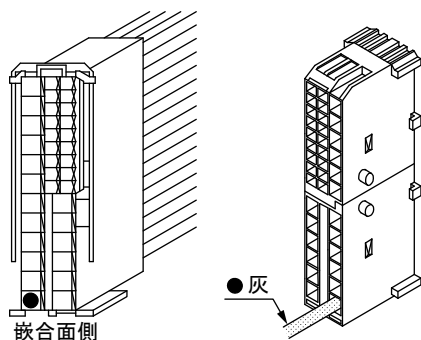
ワイヤハーネスは車両板金エッジ、樹脂バリ、可動部を避けて配線し、干渉しないように確実に固定してください。

1. ①ユニットケース Assy の各部コードの名称確認
- (1) ①ユニットケース Assy の各部コードの名称を左図に示したように確認してください。

2026 年 7 月以前の場合

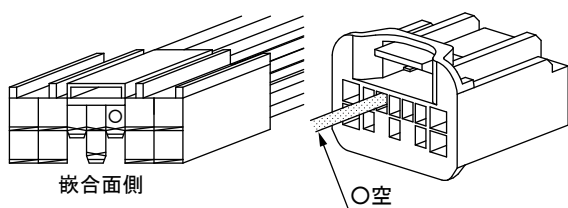


グローブボックス奥の J/B 内白色 36 極コネクタ



●…灰 → ①ユニットケース Assy のコード (赤) と接続
(他のハーネスは省略しています。)

グローブボックス奥の J/B 内白色 12 極コネクタ



○…空 → ①ユニットケース Assy のコード (赤 - 白) と接続
(他のハーネスは省略しています。)

2026 年 7 月以前の場合 ※年式により作業が異なります

2. ①ユニットケース Assy の電源取り出しと配線

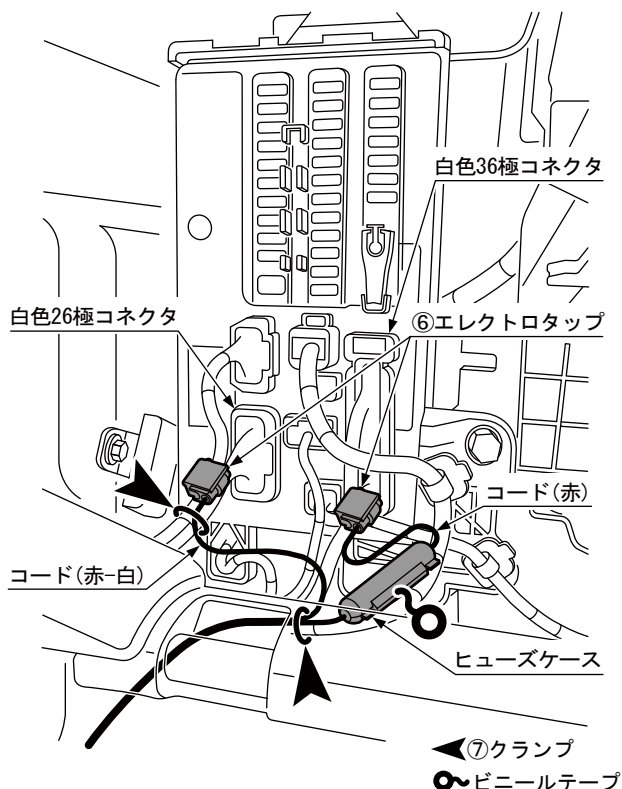
- (1) ①ユニットケース Assy のコード (赤) と (赤 - 白) をグローブボックス奥の J/B 内白色 36 極コネクタの灰線と J/B 内白色 12 極コネクタの空線に、⑥エレクトロタップでそれぞれ接続します。

車両側のコネクタのコード	①ユニットケース Assy のコード
白色 36 極コネクタ : 灰	● 赤
白色 12 極コネクタ : 空	○ 赤 - 白

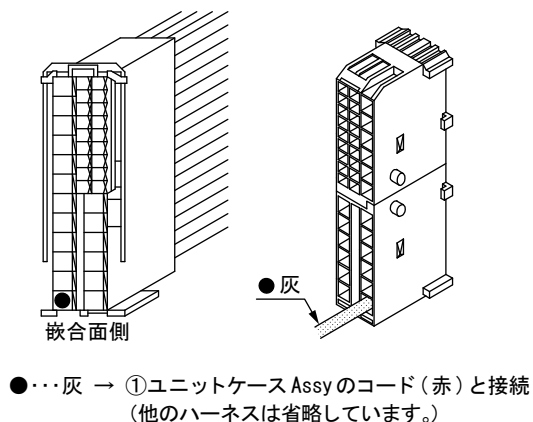
アドバイス

- ⑥エレクトロタップの接続は、3/16 ページの“エレクトロタップ (分岐コネクタ) の接続要領”を参照してください。
 - 分岐コネクタによる接続の際、車両ハーネスに保護テープが巻かれている場合は必要に応じてテープをカットし、接続後分岐コネクタの上からビニールテープを巻き付けてください。
 - 車両ハーネスの線色と①ユニットケース Assy のコードの線色とは異なりますが、問題ありません。
- (2) ①ユニットケース Assy のヒューズケースを図のように車両ハーネスに沿わせて ○ ビニールテープを巻いて固定します。
- (3) ①ユニットケース Assy のコード (赤) と (赤 - 白) を車両ハーネスに沿わせ、◀⑦クランプで図のように 2 ケ所固定します。

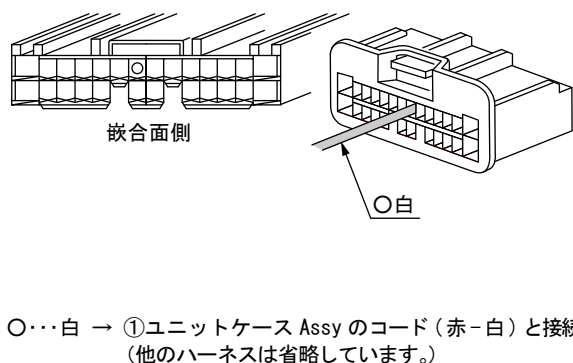
2026 年 8 月以降の場合



グローブボックス奥の J/B 内白色 36 極コネクタ



グローブボックス奥の J/B 内白色 26 極コネクタ



2026 年 8 月以降の場合 ※年式により作業が異なります

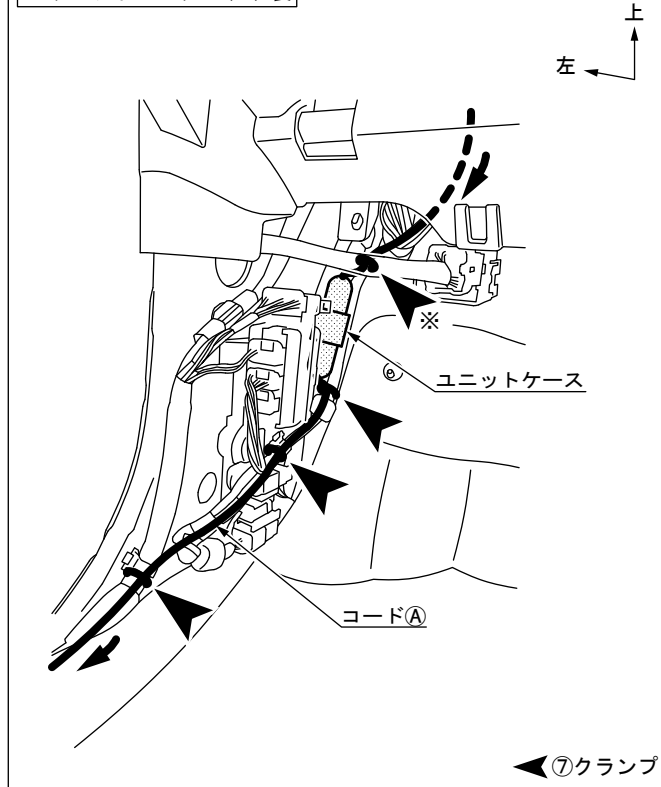
2. ①ユニットケース Assy の電源取り出しと配線
- (1) ①ユニットケース Assy のコード(赤)と(赤-白)をグローブボックス奥の J/B 内白色 36 極コネクタの灰線と J/B 内白色 26 極コネクタの白線に、⑥エレクトロタップでそれぞれ接続します。

車両側のコネクタのコード	①ユニットケース Assy のコード
白色 36 極コネクタ : 灰	● 赤
白色 26 極コネクタ : 白	○ 赤-白

アドバイス

- ⑥エレクトロタップの接続は、3/16 ページの“エレクトロタップ(分岐コネクタ)の接続要領”を参照してください。
 - 分岐コネクタによる接続の際、車両ハーネスに保護テープが巻かれている場合は必要に応じてテープをカットし、接続後分岐コネクタの上からビニールテープを巻き付けてください。
 - 車両ハーネスの線色と①ユニットケース Assy のコードの線色とは異なりますが、問題ありません。
- (2) ①ユニットケース Assy のヒューズケースを図のように車両ハーネスに沿わせて ○ ビニールテープを巻いて固定します。
- (3) ①ユニットケース Assy のコード(赤)と(赤-白)を車両ハーネスに沿わせ、⑦クランプで図のように 2 ケ所固定します。

カウルサイドトリム (LH) 裏



- (4) ①ユニットケース Assy のコード(A)を左図のようにカウルサイドトリム (LH) 裏の車両ハーネスに沿わせて配線し、◀⑦クランプで4ヶ所固定します。

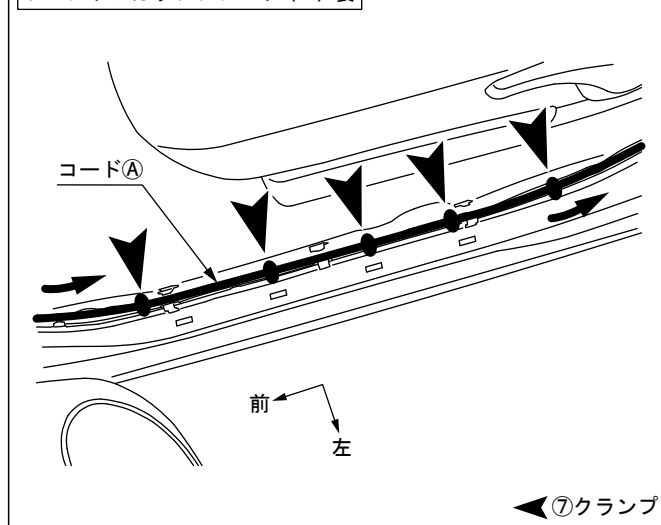
⚠ ご注意

①ユニットケース Assy のユニットケースは固定する車両ハーネスより室外側に向けてください。

👉 アドバイス

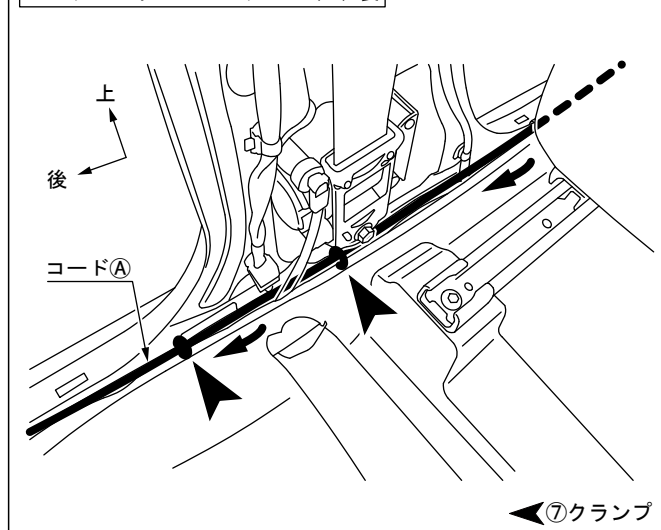
①ユニットケース Assy のコード (赤) と (赤 - 白) の余長分は※部の◀⑦クランプ位置で束ねて固定してください。

フロントスカッププレート (LH) 裏

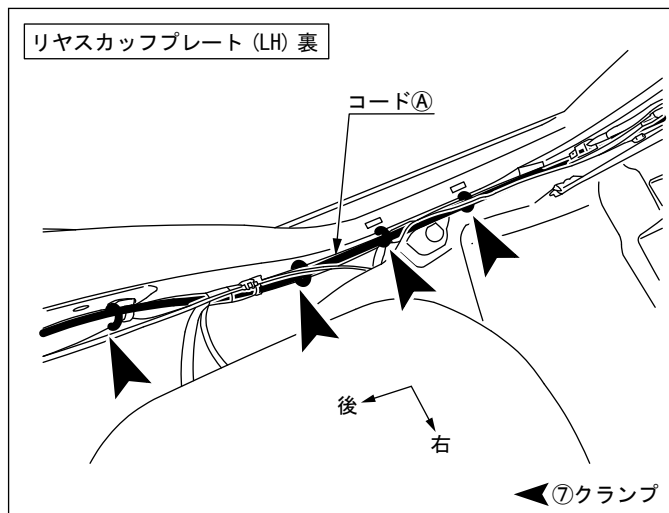


- (5) ①ユニットケース Assy のコード(A)を左図のようにフロントスカッププレート (LH) 裏の車両ハーネスに沿わせて配線し、◀⑦クランプで5ヶ所固定します。

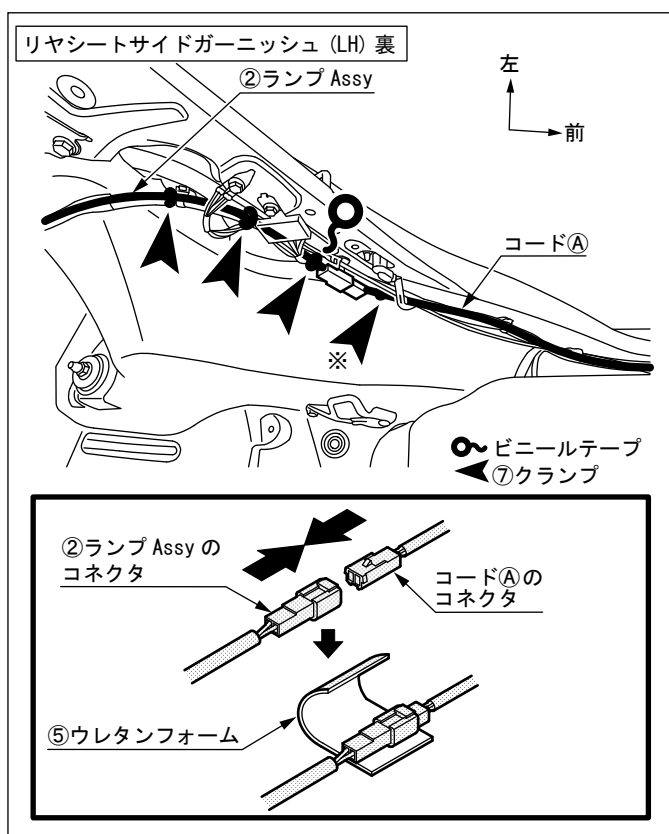
センターピラーガーニッシュ (LH) 裏



- (6) ①ユニット Assy のコード(A)を左図のようにセンターピラーガーニッシュ (LH) 裏の車両ハーネスに沿わせて配線し、◀⑦クランプで2ヶ所固定します。



- (7) ①ユニットケース Assy のコードAを左図のようにリヤスカッププレート (LH) 裏の車両ハーネスに沿わせて配線し、◀ ⑦クランプで4ヶ所固定します。



- (8) ①ユニットケース Assy のコードAと②ランプ Assy のコネクタを接続し、⑤ウレタンフォームを②ランプ Assy のコネクタに巻きつけます。
- (9) ①ユニットケース Assy のコードAを図の位置で余長分を束ねて ◀ ⑦クランプで1ヶ所固定します。

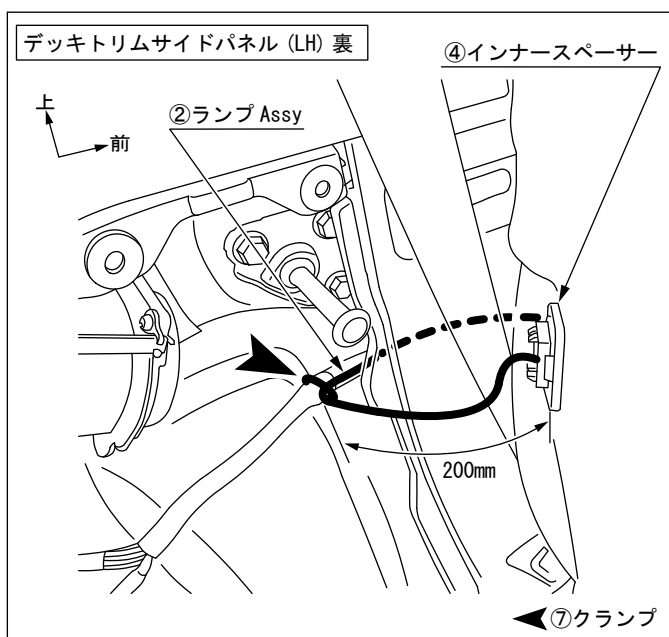
アドバイス

①ユニットケース Assy のコードAの余長分は※部の◀ ⑦クランプ位置で束ねて固定してください。

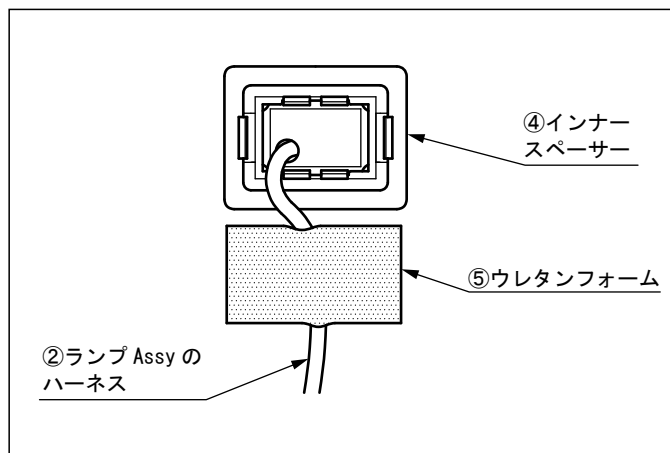
- (10) ②ランプ Assy のハーネスを左図のようにリヤシートサイドガーニッシュ (LH) 裏のハーネスに沿わせて配線し、◀ ⑦クランプで3ヶ所固定し、リヤシートサイドガーニッシュ (LH) を復元します。

△ ご注意

- ⑦クランプで②ランプ Assy のハーネスを固定する際は、必ずビニールチューブの上に行ってください。
- ②ランプ Assy の素線は図のようにビニールテープで車両ハーネスに巻きつけて固定してください。



- (11) ②ランプ Assy のハーネスを図のように④インナースペーサーから200mmの位置で、ハーネスの余長分を束ねて ◀ ⑦クランプで1ヶ所固定します。



- (12) ②ランプ Assy のハーネスを⑤ウレタンフォームでデッキトリムサイドパネル (LH) 裏側に貼り付けて固定します。

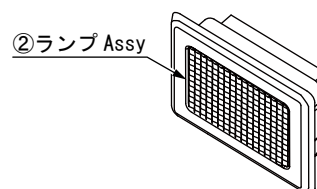
取り付け完了後の確認

1. 取り付けの確認

- (1) 配線や取り付けに異常がないか点検してください。
- (2) 特に車両ハーネス及びラゲージルームランプのハーネスを無理に押したり、引っ張ったり、かみ込んだりしていないか点検してください。
- (3) クランプ及びバンドの外れや、部品の締め付け忘れはないかも一度確認してください。

2. 作動確認

- (1) バッテリーの (-) 側ケーブルを接続してください。
- (2) バックドアを開けると、ラゲージルームランプが点灯します。
- (3) バックドアを閉じると、ラゲージルームランプが消灯します。



復元作業

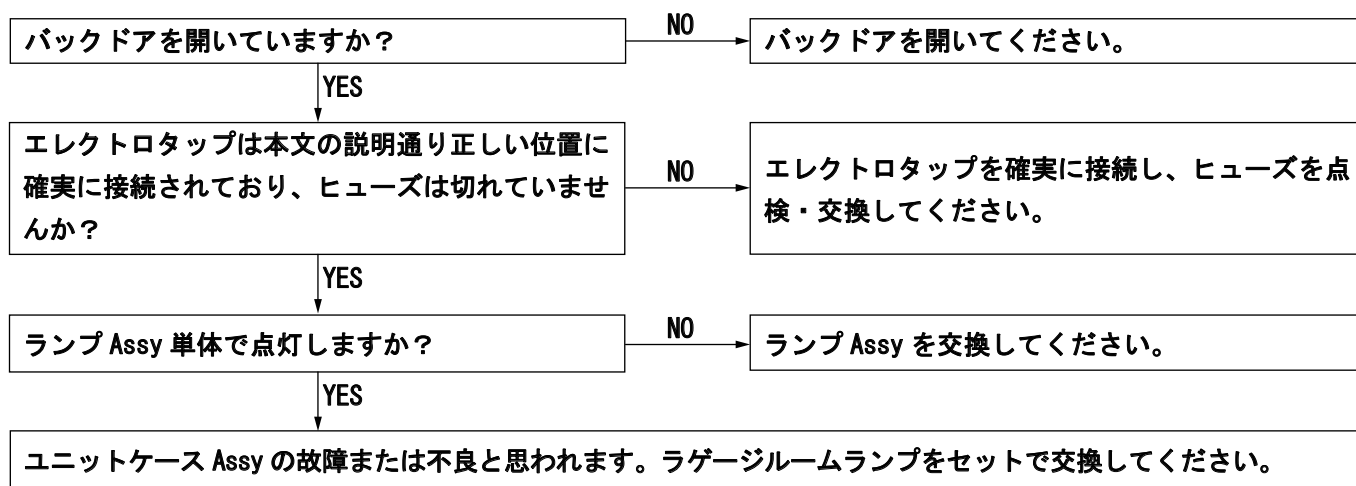
「作動確認」完了後、取り外した部品を元通りに取り付けてください。

⚠️ ご注意

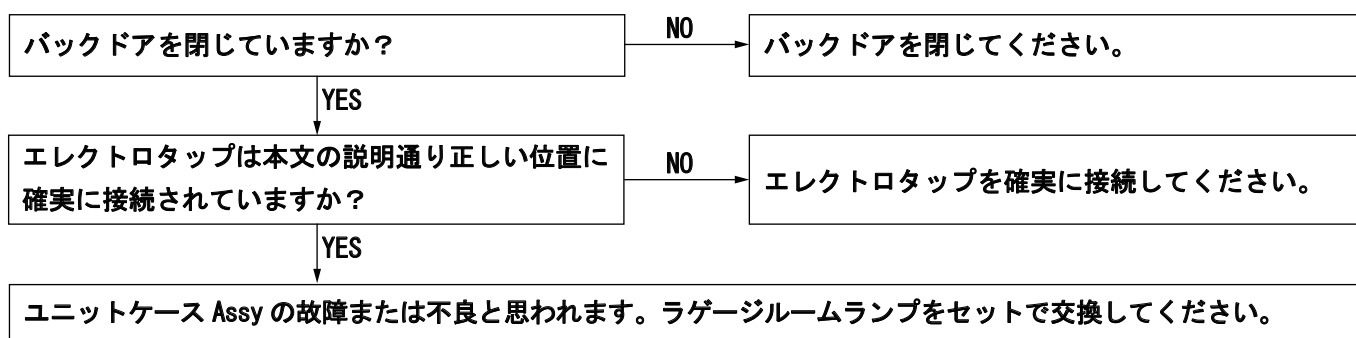
1. 車両部品組み付け時ハーネスのかみ込みに注意してください。
2. バッテリー (-) 端子接続後、初期設定の必要なものは初期設定を行ってください。

トラブルシューティング

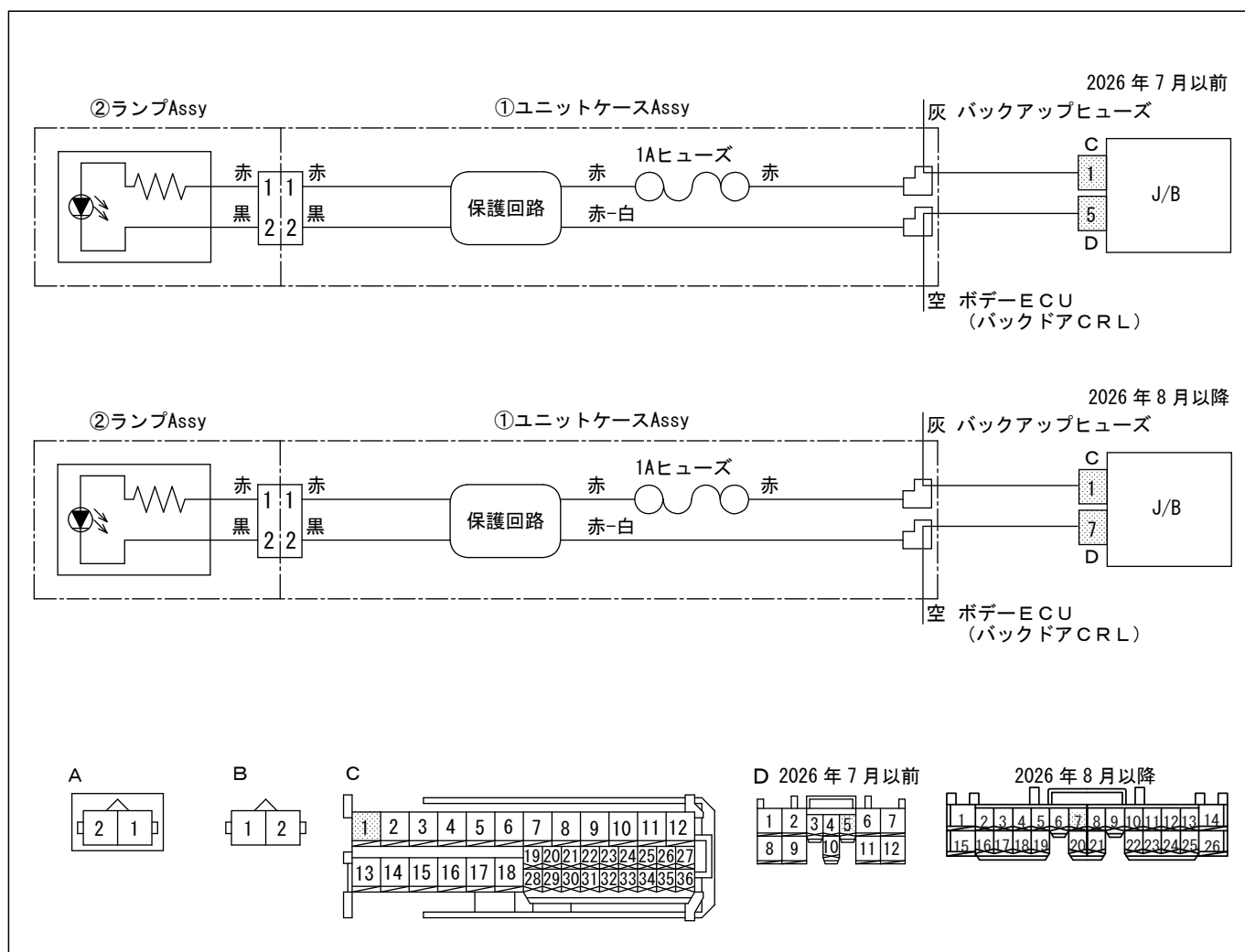
1 点灯しない



2 消灯しない



配線図



※ 上記コネクタ略図は、コネクタ接続側を示しています。

仕様

項目	仕様
定格電圧	DC 12.0V
消費電力	12V : 0.4W
使用電圧範囲	DC 10.0V ~ 16.0V
使用温度範囲	-30℃ ~ +80℃
使用光源	LED (白)
質量	116.2g (⑧取付要領書、⑨取扱書を除く)

注：仕様は製品改良のため予告なく変更することがあります。

取り付け店様へのお願い

- お客様に作動モードを説明していただきますようお願いします。
- 別冊（別紙）の「取扱書」は、必ずお客様にお渡してください。